

SPIRAL ART PRODUCE

SPIRAL ART PRODUCEの活動

沿革

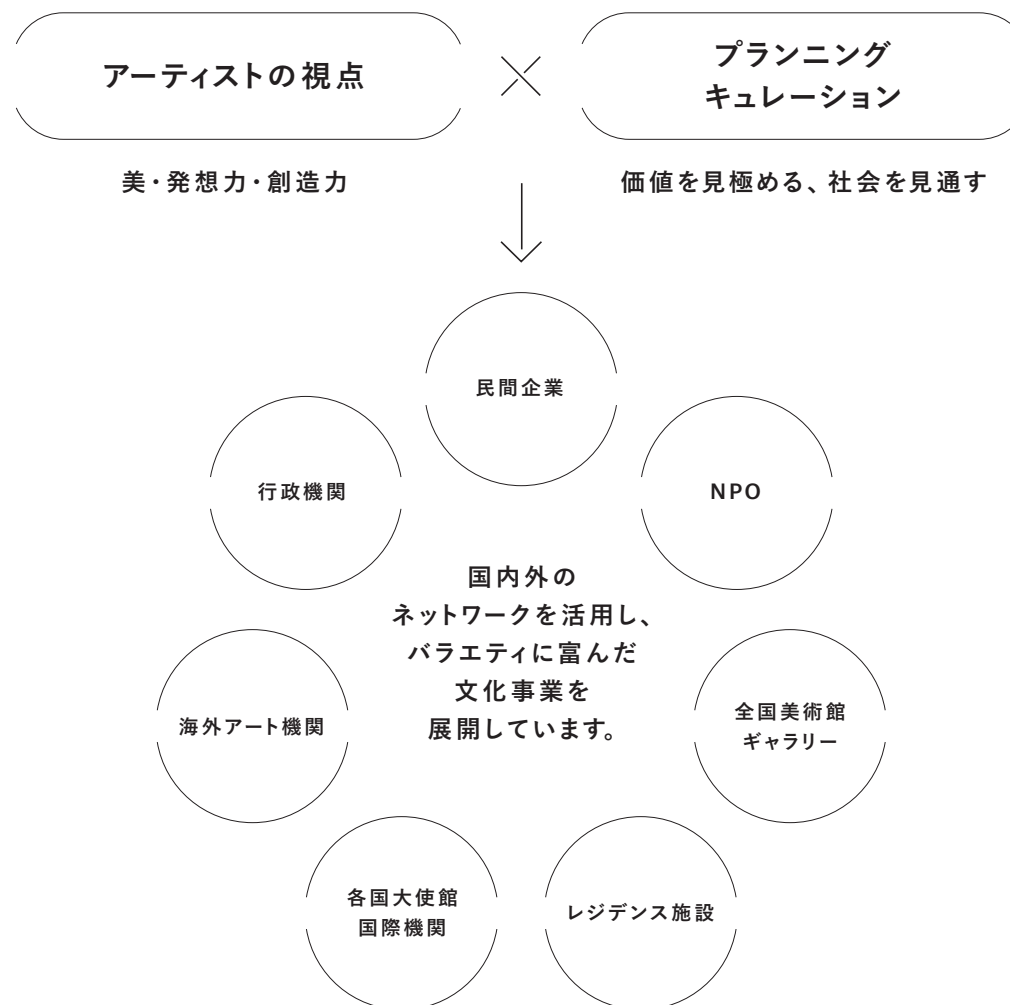
1985年の創設以来、「文化の事業化」を謳ってきたスパイラル／株式会社ワコールアートセンターでは、館内においてさまざまな展覧会や各種催事を行なってきました。また、2000年には「アートライフ宣言」を発表。アートの実社会への応用を目指し、クリエイティブネットワークを活用しながらスパイラル館外でプロデュース活動を展開しております。近年では新たな拠点形成を行うなど、活動フィールドも広範にわたります。

推進方法

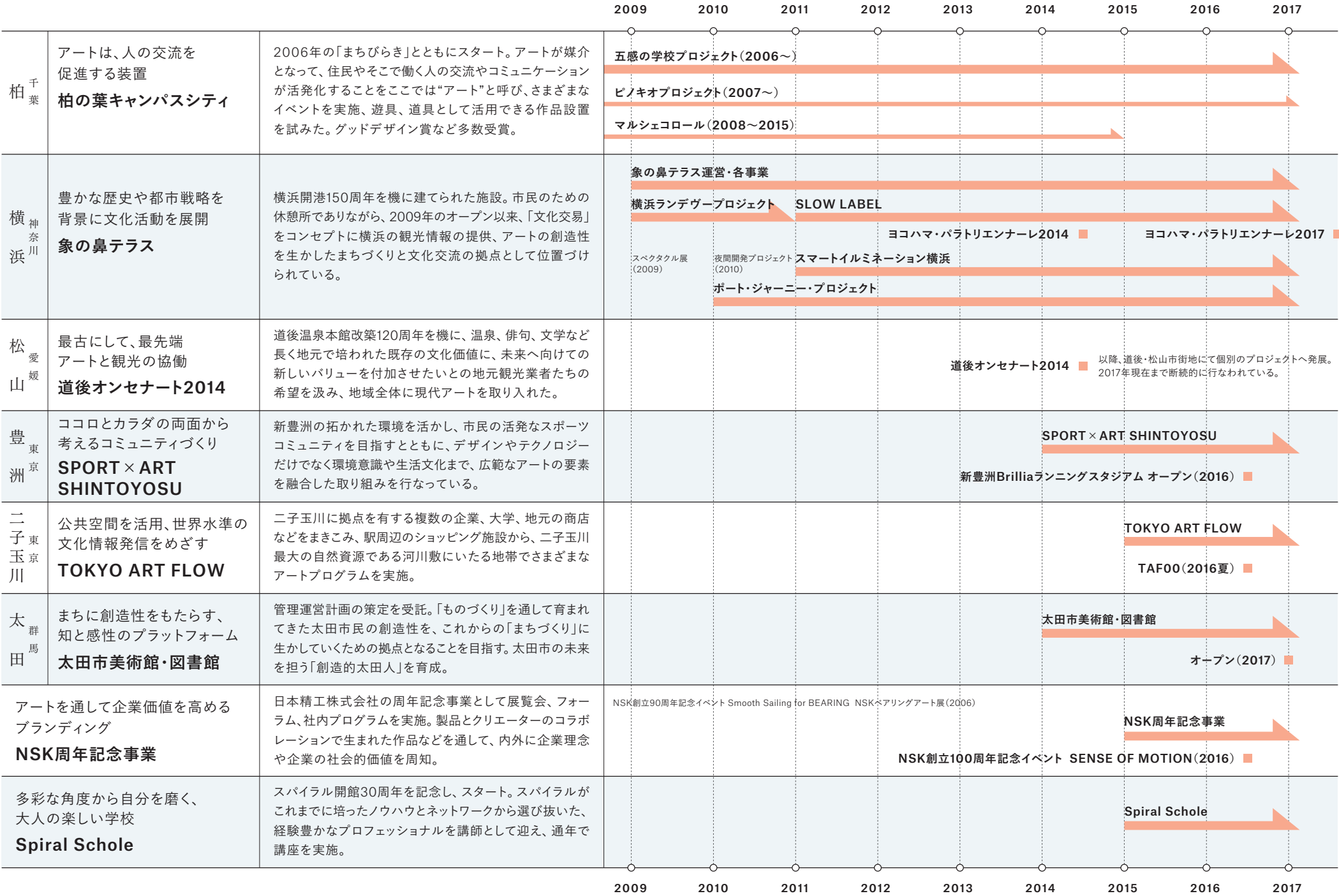
今日的な課題やニーズに応じてプログラムを企画立案し、これらに該当する、世界の第一線で活躍するアーティストやクリエイターを、その表現性や資質をもとに適正に選び、他に例を見ない独自性、社会性、自由な発想に富んだプロジェクトの形成を試みています。

推進体制

株式会社ワコールアートセンターが運営するスパイラル（東京・青山）に常勤する専門性の高いプロデューサー、プランナー、キュレーター、制作ディレクターが常時館外プロジェクトを推進。外部スタッフも適宜導入し、プロジェクトに応じた推進体制の組み立てが可能です。



Main Projects



概要

新しい視点を生かしたものづくりプラットフォーム

2000年にスパイラルが発信した「アートライフ宣言」とともに立ち上げたプロジェクト。“アートの社会へのアプリケーション”をキーワードに、現代アーティストの創造性や柔軟な発想力と、科学者・企業開発者など異業種のパートナーのもつ技術を組み合わせ、これまでにないプロダクト開発を試みた。現在までに多数の派生プロジェクトが起こり、各地で展開している。

● 2001～2003

プロトタイプを紹介する展覧会を軸としながら、プロジェクトをスタートさせる。(スパイラルガーデン)

● 2002～

企業や行政とのコラボレーションで個別プロジェクトの立ち上げ。そこから新たな商品開発ブランドなども生まれる。

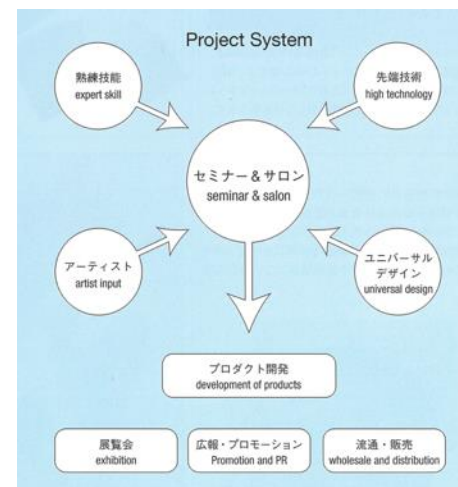
- ・Bio Concept(パナソニックデザイン社/2002～03)
- ・静岡発！ランデヴープロジェクト(静岡市/2004～07)
- ・横浜ランデヴープロジェクト(横浜市/2009～)
- ・SLOW LABELスタート(2011～)



横浜市内の障害者施設や企業とアーティストをつなげた横浜ランデヴープロジェクトからは、一点モノ手づくりブランド「SLOW LABEL」が立ち上がった。



4年間実施した静岡発！ランデヴープロジェクトでは、ひびのこづえデザインによる「ひのきのはきもの」国内外で評価されたロングセラー商品も登場。



プロジェクトのスキーム

CATEGORY

まちづくり

TITLE

象の鼻テラス（横浜市）

概要

豊かな歴史や都市戦略を背景に文化活動を展開

世界につながる都市文化を支える横浜港発祥の地とも言える象の鼻パークに、横浜開港150周年を機に建てられた施設。市民のための休憩所でありながら、2009年のオープン以来、「文化交易」をコンセプトに横浜の観光情報と世界最先端の文化情報を提供する拠点として位置づけられている。

国際交流を目指し、世界的アーティストを招聘しての滞在制作による展覧会や一線で活躍するダンサーたちによるパフォーミングアーツプログラムを館内にて実施するほか、地元を基盤とするものづくりプラットフォームの開発、都市観光を企画したイルミネーションイベントや音声ガイドプログラムなども活発に企画、実施している。



プロジェクト名称

象の鼻テラス

場所

横浜市象の鼻パーク

クライアント

横浜市文化観光局創造まちづくり課

協働・協力者

参加アーティスト

椿昇、カティア・トウキアイネンほか多数

実施期間

2009年6月～現在

CATEGORY

都市観光

TITLE

スマートイルミネーション横浜 ー省エネ技術とアートでつくるもうひとつの横浜夜景ー

概要 都市観光と省エネ技術とアートの融合

「スマートイルミネーション横浜」は、長年にわたって優れた都市景観の形成に取り組んできた横浜都心臨海部を舞台に、新たな夜景の創造を試みるアートイベントです。

本イベントは、2010年、運営を受託している横浜「象の鼻テラス」の「夜景開発プロジェクト」としてスタートしました。2011年には、アーティストの創造性を生かした夜景演出の試みを発展させると同時に、3月に発生した東日本大震災を踏まえ、LED照明や太陽光発電など、これからの時代に不可欠となる省エネルギー技術の活用をテーマに加え、第1回の「スマートイルミネーション横浜」を開催しました。

2回目の開催となった2012年は、展開エリアや作品数を大幅に拡大、「光と影を巡る夜」をテーマに、これまでにない幻想的な夜景を生み出しています。



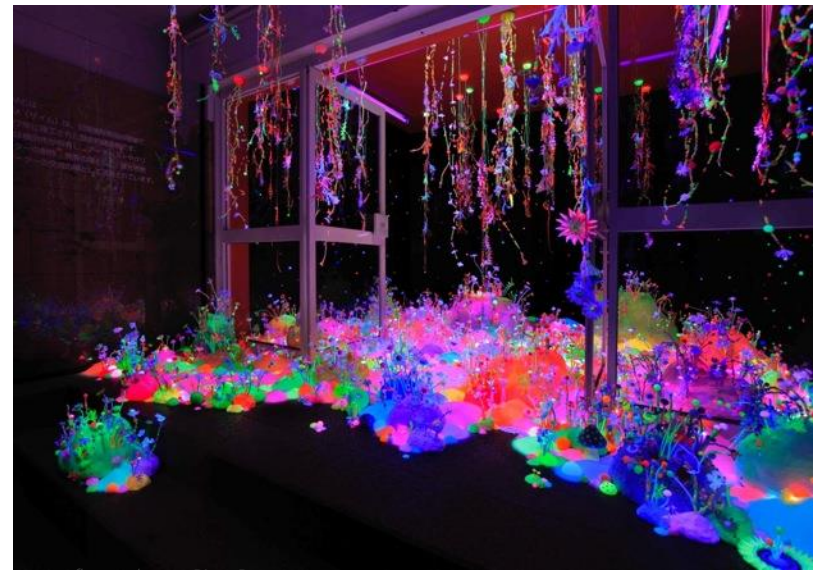
プロジェクト名称	スマートイルミネーション横浜
場所	横浜市 象の鼻パーク、日本大通り、山下公園ほか横浜臨海部
クライアント	横浜市
協働・協力者	株式会社 FREEing／ブリティッシュカウンシル／スイス・プロ・ヘルヴェティア文化財団／オーストラリア大使館／スイス大使館／日産自動車株式会社／カラーキネティクス・ジャパン株式会社 ほか
参加アーティスト	Lang／Baumann／NVA／Pip&Pop／高橋 匡太／藤本 隆行／クワクポリョウタ／谷川 俊太郎 (oblaa)／鈴木 康広／竹澤 葵／トーチカ／日下 淳一／森 日出夫／Rhizomatiks 他
実施期間	2011年10月7日～9日、2012年10月31日～11月4日

CATEGORY 都市観光

TITLE スマートイルミネーション横浜



Speed of Light Yokohama NVA
—3 movements



moon flower dream Pip&Pop



Confort#11 Lang/Baumann

CATEGORY ものづくり

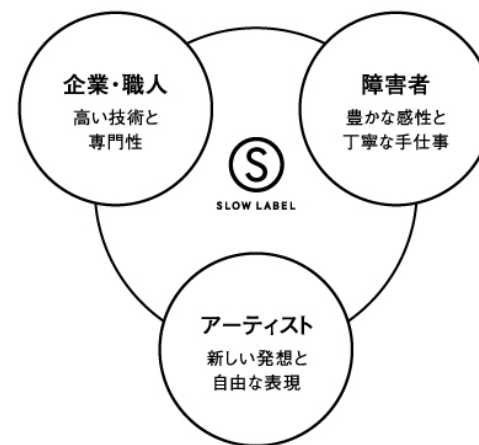
TITLE SLOW LABEL (スローレーベル)

概要 自由なものづくりを目指す、新しい試み

「SLOW LABEL (スローレーベル)」はスパイラル／株式会社ワコールアートセンターが、横浜で立ち上げた手作り雑貨ブランド。地域の福祉作業所とアーティスト、地元企業のコラボレーションによって商品開発を行うことが特徴で、福祉を主目的とするのではなく、大量生産の制約によって狭められた創造性を、手作りによって突破しようという商品開発の思想を持つ。

アーティスト、企業、身体障害者はそれぞれが対等のパートナーとして生産に関わっている。

⑤ SLOW LABEL.



プロジェクト名称 SLOW LABEL (スローレーベル)

場所

クライアント

協働・協力者 横浜市、横浜市芸術文化振興財団、NPO法人港南福祉ホーム、NPO法人中途障害者活動センターとつかわかば、株式会社アンダーザツリーほか

参加アーティスト 曾谷朝絵、福井利佐、矢内原充志、SAFARI、so+ba、ひびのこづえ、則武弥、のむらみちこ、井上唯、whiteINQ、accoほか

実施期間 2009年～



CATEGORY

福祉／フェスティバル

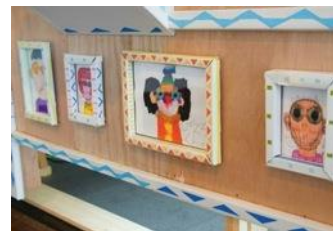
TITLE

(S L O W L A B E L) パラトリエンナーレ

概要

ボーダーのない、多様な社会に向けての提言

前述の「SLOW LABEL(スローレーベル)」が2014年より開始したフェスティバル。鋭い知覚や能力のある障害者と、高い技術を持つ多様な分野のプロフェッショナルが出会い、共鳴し、試行錯誤の末に新しい芸術表現を生み出す場として一般に向けて作品とその価値を提示する。2020年のパラリンピック文化プログラムへのステップアップを試み、3年に1回の頻度で開催。一方、最終的には障害の有無といった既存の枠組みにとらわれない多様な社会の実現を目指す。



プロジェクト名称

ヨコハマ・パラトリエンナーレ2014

場所

象の鼻テラス

クライアント

主催：横浜ランデヴープロジェクト実行委員会、特定非営利活動法人スローレーベル
共催：横浜市、2014年東アジア文化都市実行委員会

協働・協力者

補助：文化庁 後援：厚生労働省、神奈川県、ブリティッシュ・カウンシル
協賛：株式会社資生堂 特別協力：神奈川県遊技場協同組合・神奈川福祉事業協会

参加アーティスト

岩崎貴宏、SOUL FAMILY、真鍋大度、石橋素、照岡正樹、堤修一、目(め)、
ANREALAGE+TASKO inc. シバタテクノテキス、ミハイル・カリキスほか多数

実施期間

2014年～



概要 世界の文化的港湾都市をアートでつなぐ

象の鼻テラスのコンセプト「文化交易」を深掘りし、横浜市と同様に、豊かな文化戦略をもつ港湾都市をつないで新しいカルチャーネットワークを構築するためのアートプログラム。互いの文化背景を軸に相互都市のキーマンと施設（横浜側は象の鼻テラス）をつなげてディスカッションを重ね、相互の特徴的なアーティストを輸出入、催事の交換実施を目的とする。相手先は、メルボルン（2011-13）、サンディエゴ（2012-13）、ハンブルク（2013-14）、バーゼル（2014-）、ナント（2016）、チェコ・ピルゼン（2015）、光州（2015）、ヘルシンキ（2015）ほかを想定しており、毎年、参加都市にてディレクターズミーティングを行い、協働手法のディスカッション、さらなる相互理解をたかめていく。

プロジェクト名称	Port Journey Project
場所	象の鼻テラス
クライアント	横浜市文化観光局創造まちづくり課
協働・協力者	各国大使館、各都市連携施設、各都市キュレーター、コーディネータほか
参加アーティスト	Prue Crome（メルボルン）、Patrick Shields、Tim Schwartz（サンディエゴ）、さとურიさ（横浜）ほか
実施期間	2010年9月～現在



CATEGORY

都市観光

TITLE

聞き耳ワールド

概要

まちを歩くふたりの会話にそっと耳を傾ける。
これまでにない「お散歩型」音声ガイド。

「聞き耳ワールド」は、美術家の小山田徹が発案したこれまでにない「お散歩型」音声ガイドです。本プログラムで提供される音声は、ホスト役、ゲスト役の二人が実際に街を“お散歩”したときの会話を録音したもの。参加者は、ウェブサイト(www.kikimimi.org)から音声データをダウンロードし、それを聞きながら同じルートを歩くことで、“お散歩”のもうひとりの参加者となることができます。肩を並べあい、時に真面目に、時に冗談を交わしながら、街を歩いていく二人の会話にそっと「聞き耳」をたててみる。その体験からは、これまでの「解説型」音声ガイドとは全く異なる街の印象が浮かび上がってくることでしょう。



プロジェクト名称	聞き耳ワールド お散歩型音声ガイド(www.kikimimi.org)
場所	横浜市 象の鼻テラスほか横浜臨海部
クライアント	横浜市
協働・協力者	株式会社イデル／イタリア文化会館／神奈川県民ホール／ハンマーヘッドスタジオ新・港村／黄金町エリアマネジメントセンター／ ほか
参加アーティスト	椿昇／Pip&Pop／小泉雅生／タグチヒトシ／さわひらき／ ほか
実施期間	2010年～



CATEGORY

都市観光

TITLE

道後オンセナート2014

概要

最古にして、最先端。アートと観光の協働

改築120周年を迎える道後温泉本館（愛媛県松山市）の誕生日を祝し、1年を通じて行ったアート・フェスティバル。温泉、俳句、文学など長く地元で培われた既存の文化価値に、未来へ向けての新しいバリューを付加させたいとの地元観光業者たちの希望を汲み、現代アートを取り入れた。

- 1) 観光地にもかかわらず、夜の界隈そぞろ歩きが活発でない
- 2) 旅行形態の変化に伴いホテル／旅館の宿泊数が年々減少などの問題に応えるかたちで、光を使った作品、ホテルの部屋を作品化するなど、町中のあちこちで展開した。



プロジェクト名称	道後オンセナート2014
場所	愛媛県松山市 道後温泉
クライアント	(主催) 道後温泉本館改築120周年記念事業実行委員会 (共催) 道後温泉旅館協同組合、道後商店街振興組合、松山市
協働・協力者	全日本航空株式会社、じゃらん、株式会社資生堂、株式会社BEAMSほか
参加アーティスト	中谷芙二子／Rhizomatiks／草間彌生／荒木経惟／谷川俊太郎ほか
実施期間	2013年12月24日プレオープン 2014年4月10日グランドオープン ～12月31日

CATEGORY 都市観光

TITLE 道後オンセナート2014



CATEGORY

まちづくり

TITLE

五感の学校プロジェクト（柏の葉キャンパスシティ）

概要

アートは、人の交流を促進する装置

2006年のまちびらきとともにスタートした、柏の葉キャンパスシティ（つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅周辺）のまち中で行われるアートプログラムの総称。近年大規模開発にありがちだった立体彫刻を設置する象徴的なパブリックアートではなく、アートが媒介となって、住民やそこで働く人の交流やコミュニケーションが活発化することをここでは“アート”と呼び、さまざまなイベント、遊具、道具として活用できる作品設置を試みた。小さなワークショップ群に加え、「ピノキオプロジェクト」「はっぱっぱ体操」「マルシェコロール」、街のスタッフを格好良く彩る「ユニフォームプロジェクト」などグッドデザイン賞も多数。2012年以降、主にイベントプログラムは地元住民の運営に切り替え、自立を促していく。



プロジェクト名称	五感の学校プロジェクト
場所	柏の葉キャンパスシティ全域
クライアント	三井不動産レジデンシャル株式会社、読売広告社
協働・協力者	アーバンデザインセンター柏の葉（UDCK）、NPO支援センターちば その他
参加アーティスト	ジャン＝リュック・ヴィルムート、大巻伸嗣、佐藤好彦、さとうりさ、Tokyo Picnic Club、真喜志奈美、福留奈美、ひびのこづえほか多数
実施期間	2006年11月～現在

概要

「子どもは街で育てよう！」がスローガン

2007年に始まった秋の恒例イベント。イタリアの童話「ピノキオ」の物語をベースに、子どもが試行錯誤と実践を繰り返し成長していく姿を町ぐるみで応援すべく、地元企業・病院・大学その他さまざまなステークホルダーが社会体験プログラムを提供する。メインはらぼーと柏の葉の実店舗で行う「お仕事体験プログラム」。参加費を払って1時間の就労につき終了後は300Piという地域通貨が支払われ、イベント開催中はそれでお買い物が可能。考案者は伊人アーティスト&教育者のエドアルド・マラジジ。地元小学校から例年600人程度の子どもが参加する。2008年キッズデザイン賞・グッドデザイン賞受賞。



プロジェクト名称	ピノキオプロジェクト
場所	柏の葉キャンパスシティ（千葉県柏市）
クライアント	三井不動産レジデンシャル株式会社／らぼーと柏の葉／読売広告社
協働・協力者	NPO支援センターちば／柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK） 辻仲病院／千葉銀行／京葉銀行／ほか
参加アーティスト	エドアルド・マラジジ／ひびのこづえ／高橋信雅／ほか
実施期間	2007年10月より毎年1回（2日間開催）～現在まで



概要

コミュニケーションを誘発する新しい体操

運動科学の権威であり、東京大学柏の葉キャンパスに在籍する小林寛道名誉教授監修のもと、一流のクリエイティブが集結して制作した体操。インナーマッスルを鍛え、脳を刺激する高度な運動機能を有することに加え、アレンジを加えられる、グループでできるなど、ダンス要素も兼ねた自由度の高さに定評があり、人々のコミュニケーション促進に寄与する。柏の葉ではコンテストを実施するほか、毎年行われる地元のお祭りを舞台に、市民が体操披露を行なっている。オリジナル映像やグッズもありプロジェクトを総合的にデザイン。2009年グッドデザイン賞受賞。ショートバージョン、フルバージョンの2種がある。



プロジェクト名称

はっばっば体操

場所

柏の葉キャンパスシティ（千葉県柏市）

クライアント

三井不動産レジデンシャル株式会社／らぽーと柏の葉／読売広告社

協働・協力者

NPO支援センターちば／柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）
東京大学柏Ⅱキャンパス

参加アーティスト

齊藤美音子（振付）／ジム・オルーク（音楽）／グルーヴィジョンズ（映像）

実施期間

2008年制作、初披露以降毎年イベント実施

CATEGORY 地産地消・地域交流

TITLE マルシェコロール（柏の葉キャンパスシティ）

概要 みんなでつくる、みんなのマルシェ

2008年スタートした、市民によるワークショップと地元で手に入るプレミアム高い食素材が集まる、地域交流都市型市場。月1回ないし2ヶ月に1回程度パークシティ柏の葉1番街の広場や駅前の公道、時期によっては千葉大学の構内を利用するなど、駅前の諸施設・場を有効的に利用して開催。社会性と継続性を持ったまちの交流拠点として評価され、2011年、グッドデザイン賞受賞。柏の葉ドッグ（精肉店と八百屋のコラボ商品）といったマルシェコロールのオリジナル商品がうまれたり、地域の祭りとの共同開催など展開力を持っていることも魅力のひとつ。



プロジェクト名称	マルシェコロール
場所	柏の葉キャンパスシティ（千葉県柏市）
クライアント	三井不動産レジデンシャル株式会社／らぼーと柏の葉／読売広告社
協働・協力者	NPO支援センターちば／柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK） 地元企業ほか
参加アーティスト	EAT&ART TARO／柏の葉原人ほか（主に地元のアーティストが活躍）
実施期間	2008年5月第1回 現在は1,2,6月を除く毎月

CATEGORY

市民活動

TITLE

柏の葉はちみつプロジェクト（柏の葉キャンパスシティ）

概要

生活圏に自然の営みを。新たな都市養蜂のかたち。

フランス人アーティスト、ジャン＝リュック・ヴィルムートの考案により始まった市民参加型都市養蜂プロジェクト。千葉大学徳山郁夫教授と園芸学部・三輪正幸助教の指導のもと、有志市民により柏の葉はちみつクラブが結成され、技術ゼロから活動がスタート。象徴的なアートワークとしての養蜂箱の設置と地元のはちみつを扱うカフェのオープンというストーリーを軸にしながら、人々の生活の場に寄り添う新たな都市養蜂を追求した。2008年千葉県より、持続可能な国際都市づくりのための新たな担い手育成支援事業として認定。クラブで収穫したはちみつは、毎月行われるマルシェや地域のお店などで販売される。

プロジェクト名称

柏の葉はちみつプロジェクト

場所

柏の葉キャンパスシティ（千葉県柏市）

クライアント

三井不動産レジデンシャル株式会社／読売広告社

協働・協力者

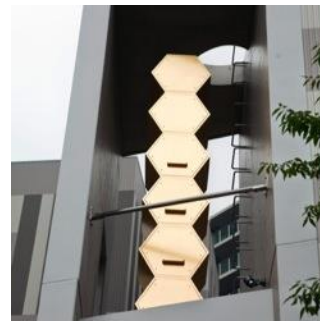
柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）
千葉大学

参加アーティスト

ジャン＝リュック・ヴィルムート、則武弥、福留奈美

実施期間

2008年クラブ結成、2011年カフェ、タワー完成



CATEGORY

まちづくり

TITLE NEW GREEN STORIES -アートが紡ぐ、新たな公園の時間-

概要

アーティストと企業のコラボで生まれる、新しい公園の使い方

第29回全国都市緑化フェアTOKYOの開催に併せ、井の頭恩賜公園会場に、新しい公園の使い方を提案する展覧会を開催した。

洋服のように着られるハンモックや、景色が一変するベンチ、切株に変身して隠れられるテントなど、アーティストの既成概念を越えた豊かな創造性と、遊具メーカーの技術力をコラボレーションさせ、日頃見慣れた公園を新たな視点で捉え直す試み。

スパイラルにて展覧会を開催後、フェア開催に併せ井の頭恩賜公園・林間広場に作品を設置。

井の頭恩賜公園では、作品に加えて「公園の使いこなし」をテーマに、アーティストによる5つのワークショップも行った。



プロジェクト名称	NEW GREEN STORIES -アートが紡ぐ、新たな公園の時間-
場所	スパイラルガーデン(スパイラル1F)、井の頭恩賜公園・林間広場
クライアント	第29回全国都市緑化フェアTOKYO実行委員会
協働・協力者	株式会社コトブキ、株式会社中村製作所
参加アーティスト	<ランデヴープロジェクト>佐藤好彦/シアタープロダクツ/鈴木康広 <ワークショップ>井上尚子/oblaat/川内倫子/鈴木康広/月岡彩/中山晴奈
実施期間	スパイラル展:2012年9月19日(水)~23日(日) 井の頭恩賜公園展:2012年9月29日(土)~10月28日(日)

CATEGORY

用途開発

TITLE KAITEKIのかたち展 ～アートと技術の化学反応～

概要

21組のアーティストが提案する「KAITEKI」

三菱ケミカルホールディングス（MCHC）グループが持つ多種多様な素材と技術を使って21組のアーティストが作品を制作・出展した展覧会。MCHCグループが目指す「KAITEKI」（人間にとって快適であるだけでなく、社会や地球に対しても快適で、真に持続可能である状態）というメッセージを広く発信するため、「KAITEKIとは何か」をテーマに、絵画、彫刻、インスタレーション、ファッション等のさまざまな分野の作品を出展した。

会場構成は谷尻誠氏（SUPPOSE DESIGN OFFICE）に依頼。

水のゆらめきを感じられる光あふれる空間となった。



プロジェクト名称	KAITEKIのかたち展 ～アートと技術の化学反応～
場所	スパイラルガーデン（スパイラル1F）
クライアント	株式会社地球快適化インスティテュート／ 株式会社三菱ケミカルホールディングス
協働・協力者	株式会社ユニバーサルデザイン総合研究所 株式会社インスパイア
参加アーティスト	日比野克彦／津村耕佑／真鍋大度・石橋素 他21組
実施期間	2011年7月29日（金）～31日（日）

CATEGORY

アートフェア

TITLE

THE ART FAIRS: +PLUS-ULTRA

概要

アートの「いま」に触れ、アートをもっと身近にする統合型アートフェア

40歳以下の若手ディレクター個人を出展単位とする、「エマージング・ディレクターズ・アートフェア」と、現代美術に限らず、ジャンルの垣根を超えて日本初の優れたアートを幅広く提供することを目指す「+プリュス:ジ・アートフェア」の2つのフェアをスパイラルで同時開催するもの。

「ウルトラ」はギャラリーで実際に作家と作品を選ぶディレクター個人を出展単位としたユニークなフェアで、2008年より開催。「+プリュス」は2012年よりウルトラと統合して再スタートしたアートフェアで、高い実績と信頼のあるギャラリーが出展する。

「プリュス・ウルトラ」はラテン語で「もっと前へ」を意味し、出展者がただ商売にしのぎを削るのではなく、来場者とアートをつなぐ多角的な接点を創出し、日本の美術マーケットを再活性化し、美術界の発展に繋げることを当フェアの目的としている。



プロジェクト名称 ジ・アートフェアズ: +プリュス・ウルトラ

場所 スパイラルガーデン(スパイラル1F)

クライアント

協働・協力者 株式会社レントゲンヴェルケ

参加アーティスト

実施期間 2008年10月～、年1回開催

CATEGORY

国際交流

TITLE

NUMEN / FOR USE Exhibition “TAPE TOKYO”

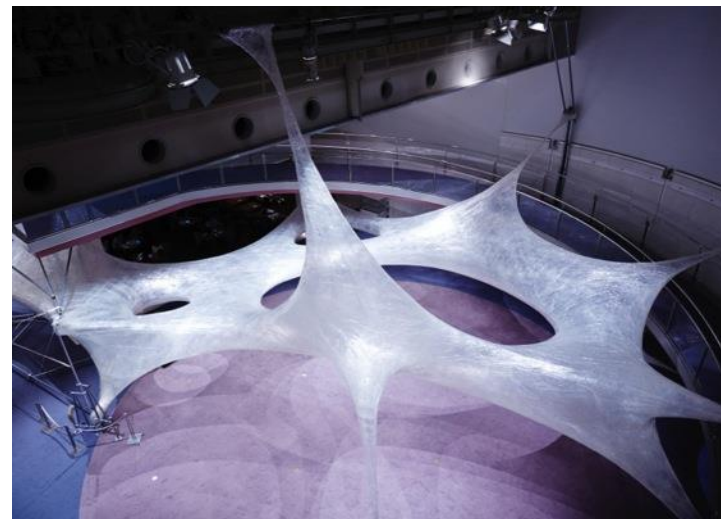
概要

ビニルテープから産み出された、壮大な体験型インスタレーション

クロアチア、オーストリアを拠点に活躍するアーティスト集団、ヌーメン／フォーユースのアジア初個展。本展では、梱包用ビニルテープを幾重にも巻きつけて作られた「テープインスタレーション」を作成した。

作品内部へは入る事ができ、さながら繭の内部にいるような包み込まれる感覚を楽しむことができる。

作品を制作するにあたっては、建築系の学生ボランティアと共に、作品が作られていく様子を1週間にわたり公開し、また、完成した作品を舞台美術に見立て、現代美術＋ダンスパフォーマンスの可能性を示すプログラムを2回行うなど、ジャンルの垣根を超えた展開を行った。



プロジェクト名称 ヌーメン／フォーユース展『テープ トーキョー』

場所 スパイラルガーデン(スパイラル1F)

クライアント

協働・協力者 助成: EU-ジャパンフェスト日本委員会 特別協力: 東京ドイツ文化センター 協力: オーストリア大使館、COEDO BREWERY 資材協力: 住友スリーエム㈱ 後援: 駐日クロアチア共和国大使館

参加アーティスト ヌーメン／フォーユース

実施期間 2013年11月18日(月)～12月4日(水)

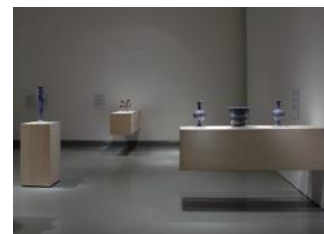
CATEGORY 国際交流

TITLE Yuki Hayama "Ceramic Stories"

概要 フィンランドで展覧した、日本の美と技

息も詰まる程の精緻な絵付けと、古今東西の文様研究の成果から生み出された物語性に富んだ独自の文様、それらを統合する圧倒的な技量で磁器をつくりだす葉山有樹。

本展では、今日までの活動の集大成を発表すると共に、次代に繋がる新たなテーマと究極的な表現にも挑戦した最新作品を含む約40点を展示。用と美を慈しみ、暮らしを楽しみ、産業を育んできた日本の古くて新しい美の可能性を実用文化発展の地フィンランドにて展覧しました。



プロジェクト名称	Yuki Hayama "Ceramic Stories"
場所	DESIGNMUSEO (ヘルシンキ、フィンランド)
クライアント	DESIGNMUSEO
協働・協力者	武松幸治+E.P.A(会場構成)、財団法人ポーラ美術振興財団(助成)、MTV3、株式会社ワコール(協賛)
参加アーティスト	葉山有樹
実施期間	2007年10月12日(金)～2008年1月6日(日)



CATEGORY

女性のライフサポート

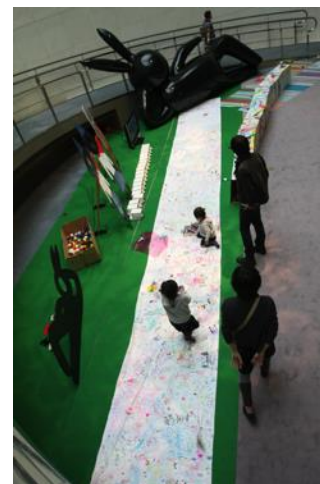
TITLE

アートママの休日

概要

世の中のクリエイティブママを応援する！

2011年より展覧会という形でスタートした本プログラムは、普段は忙しくても、本当は知的に、豊かに自分自身の生活を楽しみたいと願うクリエイティブなママを応援する企画。展覧会会場内に、アート作品としての託児施設を設けて、子どもごと“鑑賞”できる美しい空間を創りだしたり、ママには読書タイムや美容施術のサービスを提供したりと、女性が女性らしくいられる環境を多方面から提案する。2012年以降、青山の街との連携プログラムを計画。



プロジェクト名称

アートママの休日

場所

スパイラルガーデン(スパイラル1F)

クライアント

協働・協力者

ポピンズコーポレーションほか

参加アーティスト

(2011年) 月岡彩、大平龍一、Toru Fujita、Rico、白石衆
(2012年) 山口藍、PIP&POP(予定)

実施期間

2011年4月23日～5日6日(2012年は夏開催予定)

CATEGORY

地域交流

TITLE

山口植樹祭メインアトラクション（きらら博記念公園）

概要

日本三大行幸イベント「植樹祭」における
ダンスパフォーマンスプログラム

2011年二子玉川ライズでのアトラクションが派生して、2012年、山口県で行われた全国植樹祭におけるメインアトラクションを、ひびのこづえ（コスチュームデザイン）、森山開次（振付）、川瀬浩介（音楽）が担当。現地ダンススタジオ、3つの地元小学校での振付練習を二ヶ月にわたって行い、約160名の小学生と約60名のダンサーによる8分間の壮大なパフォーマンスプログラムが出来上がった。白蛇、ミカドアゲハなど山口県にゆかりのある13種の動物バルーンが晴天のもと華やかに舞い、10000人に観客ほか、天皇陛下・皇后陛下がご覧になられた。



プロジェクト名称	第63回全国植樹祭
場所	きらら博記念公園（山口県山口市阿知須町）
クライアント	山口県／電通関西支社
協働・協力者	SD ほか
参加アーティスト	ひびのこづえ／森山開次／川瀬浩介／
実施期間	2011年5月、8月、10月、12月に実施。2012年以降は回数を変えて継続

CATEGORY 地域交流・大学連携

TITLE タマリバース（二子玉川）

概要 商業施設と大学による産学共同地域連携プロジェクト

2011年二子玉川ライズ開業に併せてスタートした、二子玉川ライズと多摩美術大学による地域連携アートプロジェクト。アートや文化を通じた地域貢献や良質なコンテンツ活用を目指す二子玉川ライズと、二子玉川から徒歩圏内にキャンパスを構え、学生の発表の場や学びの場を学外に展開したい多摩美術大学をつなぎ、2011年は年4回イベントを実施。ショッピングセンター内の広大な半屋外空間でパフォーマンスやワークショップを行う。初回は多摩美術大学客員教授ひびのこづえが衣装・空間デザインを担当。森山開次が同大学映像演劇学科の学生を振付け、パフォーマンスを実施。3日間のイベントで約7000名の観客を動員。

プロジェクト名称	タマリバース
場所	二子玉川ライズ（東京都世田谷区）
クライアント	東急電鉄／東急エージェンシー
協働・協力者	SD, 多摩美術大学映像演劇学科、ほか
参加アーティスト	ひびのこづえ／森山開次／川瀬浩介／ほか
実施期間	2011年5月、8月、10月、12月に実施。2012年以降は回数を変えて継続



CATEGORY 地域交流・大学連携

TITLE タマリバース（二子玉川）



CATEGORY

都市観光

TITLE

語り継ぐココロとコトバ 大古事記展

概要

五感で味わう、愛と創造の物語

「大古事記展－語り継ぐココロとコトバ」は、奈良県が推進する「なら記紀・万葉プロジェクト」の一貫として、2015年10月18日～12月14日、奈良県立美術館にて開催されました。スパイラルは、美術、文献学、考古学など、多分野の専門家が協働した本展において、展覧会全体のテーマと構成を提案し、展示演出の監修を行うほか、序章および第3章の映像制作、第5章の新作アート作品の制作を担当しました。映像制作には福田泰崇を、現代アート作家として、山口藍、トーチカ、エキソニモの3組を起用、国宝を含む貴重な美術品・考古品から最先端の現代アートまで、幅広い内容を含んだ本展は大きな話題を呼び、奈良県が主催する展覧会としては異例となる10万人の来場者を記録しました。

プロジェクト名称	語り継ぐココロとコトバ 大古事記展
場所	奈良県立美術館
クライアント	奈良県／株式会社アサツー ディ・ケイ
協働・協力者	CG-ARTS協会
参加アーティスト	エキソニモ、トーチカ、山口藍、福田泰崇
実施期間	2014年10月18日～12月14日



Photo: 市川靖史

概要

図書館と美術館が同居する複合文化施設

群馬県太田市は中島飛行機の発祥の地であり、富士重工業株式会社が本社を置く工業都市です。同市では、活発な工業経済が存在する一方で、中心市街地の衰退が課題となっており、「太田市美術館・図書館」は、中心市街地の活性化を目的に計画されました。

スパイラルでは、建築家・平田晃久氏によるユニークな建築プランを生かしつつ、それを効果的に活用する管理運営計画の策定を行っています。中心市街地に賑わいを取り戻すことを主目的としつつ、美術館と図書館が融合するこれまでにない複合文化施設としての特徴を生かし、多彩な文化事業を展開することを予定しています。

本施設のオープンは2017年の4月となります。



© akihisa hirata architecture office

プロジェクト名称	太田市美術館・図書館 管理運営計画
場所	群馬県太田市
クライアント	太田市
協働・協力者	花井裕一郎、平野篤史
参加アーティスト	
実施期間	2014年～(継続中)

CATEGORY 都市観光

TITLE 八王子観光産業振興会議

概要 世界都市＝東京の水と森のゲートシティを目指して

八王子観光産業振興会議は、八王子市と八王子商工会議所が共同して立ち上げた会議です。長年にわたって急激な人口拡大が続く一方で、交流人口の獲得に関しては取り組みが遅れてきた八王子の観光産業を活性化させることを目的としています。

スパイラルは同会議のコンサルタントとして、一流シェフと地元食材の出会いから新たな食文化の提案を目指すフードフェスティバル、豊かな自然と歴史、最先端の企業活動などを体験学習するインタープリテーションフェスティバルなど、多彩なフェスティバルを企画立案するとともに、経済効果の高い観光として注目されるMICEの推進に向け、八王子MICE都市推進センターの活動計画策定などに取り組んでいます。

※MICE: Meeting/Incentive Tour/Convention/Event Exhibitionの略でビジネストリップを指す。

プロジェクト名称	八王子観光産業振興会議
場所	八王子市
クライアント	八王子市、八王子商工会議所
協働・協力者	株式会社コミュニケーション・デザインング研究所 クーカル、自然教育研究センター、株式会社ヘッズなど
参加アーティスト	
実施期間	2012年～(継続中)



CATEGORY

まちづくり

TITLE TOKYO ART FLOW 00

概要

二子玉川の公共空間を活用、世界水準の文化情報発信をめざす。

2016年、夏休み期間の3日間、駅周辺のショッピング施設から、二子玉川最大の自然資源である河川敷にいたる地帯でさまざまなプログラムを実施。都市は、市民が自ら関わることで、手を加えることにより、その風景も文化も特徴づけられ、根づいていきます。ここに生活する人々にとって誇りある街になるように、本アートフェスティバルでは、川沿い、駅前空間、路地などの公共空間を使用し、市民や企業を巻き込んで作品制作を行った。

2016年はフェスティバルを立ち上げるにあたっての、実験という意味も含め第0回として実施。初回は、スイスより1組の作家が参加したほか、国内20組の参加を得た。

動員はイベント参加者30,000人。

プロジェクト名称	TOKYO ART FLOW 00(トウキョウアートフロウ00)
場所	二子玉川駅周辺(多摩川河川敷、玉川高島屋S・C、二子玉川ライズなど)
クライアント	TOKYO ART FLOW 00実行委員会(東京急行電鉄株式会社、楽天株式会社、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社、玉川高島屋S・C、世田谷区、多摩美術大学ほか)
協働・協力者	株式会社NTTドコモ、サントリーホールディングス株式会社、株式会社中川ケミカルほか
参加アーティスト	ラング／パウマン、高橋匡太、目、SUPPOSE DESIGN OFFICE(谷尻誠、吉田愛)、和田永、ファイファイ、ひびのこづえ、CANTUS+坂本美雨ほか
実施期間	2016年7月29日(金)～7月31日(日)



CATEGORY

スクールプログラム

TITLE

Spiral Schole (スパイラルスコレー)

概要

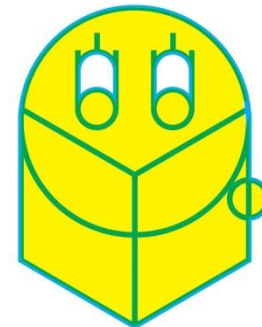
多彩な角度から自分を磨く、大人の楽しい学校

「Spiral Schole」は、スパイラルと運営母体のワコールが共同で推進するエデュケーションプログラム。開館30周年を記念し、2015年4月にスタートしました。本プログラムでは、スパイラルとワコールがこれまでに培ったノウハウとネットワークから選び抜いた、経験豊かなプロフェッショナルを講師として迎え、様々なニーズに合わせた講座を実施しています。

2016年度は協力企画を含め全29の講座が開講されました。

ワコールが主催する「ワコールスタディホール京都」でのスクール事業においても、スパイラルで企画協力を行った講座を実施。

開催した講座：表参道ケンチュ散歩、ニッポンファッション最前線、スクリーンに映画がかかるまで など



プロジェクト名称	Spiral Schole
場所	スパイラルルーム（スパイラル9F）、他
クライアント	
協働・協力者	株式会社ワコール、日本財団ママップロ、非営利型株式会社Polaris、Fashion Studies、オブラート、RAD、20世紀フォックスホームエンターテインメントジャパン、他
参加アーティスト	我妻マリ、ヴィヴィアン佐藤、覚和歌子、杉野希妃、石川三千花、御徒町風、蘆田裕史、他
実施期間	2015年～（継続中）



CATEGORY

企業ブランディング

TITLE

SPORTS × ART SHINTOYOSU

概要 アートとスポーツを通したエリアブランディング

SPORT × ARTは、東京ガス用地開発株式会社が「TOYOSU22」プロジェクトの一環で新豊洲のコミュニティづくりのため推進する活動テーマです。ココロとカラダの両面からコミュニティづくりを考えるため、市民にひらかれたスポーツコミュニティを目指すとともに、環境意識や生活文化まで、広くアートの要素を融合させるため、エリアブランディングを行いました。

2015年オープンにあわせ、新豊洲アート広場に「新豊洲パブリックアートコレクション」の3作品を設置し、ワークショップなども実施。また、「新豊洲Brilliaランニングスタジアム」の構想を手がけ、2016年のオープン後は、SLOW LABELの参加型パフォーマンス「SLOW MOVEMENT」の活動拠点として、トレーニングや公演発表を行っています。

プロジェクト名称	SPORT × ART SHINTOYOSU (スポーツバイアート シントヨス)
場所	新豊洲エリア (東京都江東区豊洲6丁目、新豊洲Brilliaランニングスタジアム)
クライアント	東京ガス用地開発株式会社
協働・協力者	協力：アトリエコーナス、一般社団法人石川県繊維協会、有限会社オフィスルウ、江東区青少年対策豊洲地区委員会、江東区立第二辰巳小学校、江東区立豊洲西小学校、株式会社繊維リソースいしかわ、ラック産業株式会社、株式会社ワコール
参加アーティスト	高橋匡太、井上信太、曾谷朝絵、森山開次
実施期間	2015年～(継続中)



CATEGORY

企業ブランディング

TITLE

NSK 100 周年記念展示イベント
SENSE OF MOTION

概要 アートを通して企業価値を高めるブランディング

「動き」をスムーズにするベアリングを中心に製造してきたグローバル企業、日本精工株式会社（NSK）による創立100周年を記念した展示イベント「SENSE OF MOTION」を開催、スパイラルはプロデュースを手がけました。

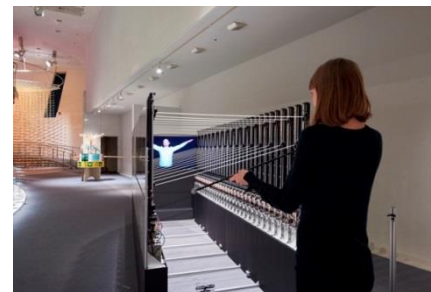
展覧会「SENSE OF MOTION」では、6組の参加クリエイターとNSKが、あたらしい感覚を呼び覚ます「あたらしい動き」をテーマにした作品を展示。

また、国内外の未来をつくる人のための「NSK Future Forum」、国内各拠点で社員とクリエイターが協働して展開する「Satellite Program」も開催しました。

NSKが掲げるNSKビジョン2026「あたらしい動きをつくる。

（SETTING THE FUTURE IN MOTION）」にふさわしい、あらたな取り組みとなりました。

プロジェクト名称	NSK 100 周年記念展示イベント SENSE OF MOTION
場所	スパイラルガーデン（スパイラル1F）、スパイラルホール（スパイラル3F）、NSK工場、他
クライアント	日本精工株式会社
協働・協力者	紫牟田伸子
参加アーティスト	石黒猛、AR三兄弟、エマニュエル・ムホー、スズキユウリ+SLOW LABEL、Nadegata Instant Party（中崎透+山城大智+野田智子）、Rhizomatiks Research、菊地敦己、為末大、スブツニ子！、猪子寿之、柴幸男、シアタープロダクツ、他
実施期間	2015年～（継続中）



撮影：加藤純平

CATEGORY まちづくり

TITLE 森のサーカス

概要 アートを通して企業価値を高めるブランディング

横浜市緑区の全国都市緑化よこはまフェアイベント「新たな森の楽しみづくり」の受託事業で、『森のサーカス』と題したサーカス公演およびワークショップを行いました。

舞台美術のアーティストに、フランス人のバルバラ・キャデを迎え、サーカス公演には、一般社団法人 瀬戸内サーカスファクトリーのコーディネートのもと、3名のパフォーマーと1名の音楽家が出演。森に棲む動物のストーリーで、緑の深い森に、色鮮やかな動物のマスクを被ったパフォーマーが大木に吊したエアリアルなどで華麗な演技を披露し、幻想的なひと時を創り出しました。



プロジェクト名称	森のサーカス
場所	横浜市鴨居地域ケアプラザ GPホール、鴨居原市民の森 北地区
クライアント	横浜市緑区役所
協働・協力者	一般社団法人 瀬戸内サーカスファクトリー
参加アーティスト	バルバラ・キャデ
実施期間	2016年～(継続中)



CATEGORY

新施設開業支援

TITLE

Gallery AaMo

概要

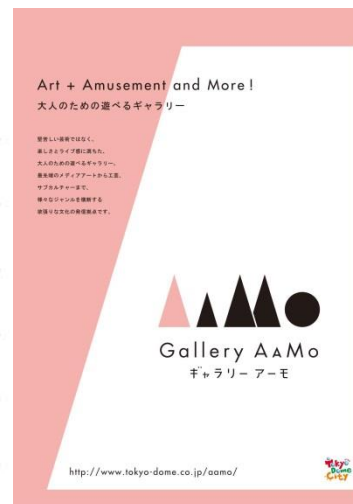
新施設のブランディング及びコンテンツ開発

2017年4月、東京ドームシティにオープンした大人のための遊べる多目的ギャラリー「Gallery AaMo(ギャラリー アーモ)」の開業に際して、ブランディングのコンサルテーション及びコンテンツの開発ディレクションを実施。施設のネーミング、ロゴデザイン・ロゴマニュアル制作、さらにファサードデザインのディレクションを行う。

また、施設のこけら落としイベントの全体プロデュースも担当。内覧会式典のディレクションを行うほか、メディアアーティスト・真鍋大度と演出振付家のMIKIKOによる新作ダンス・インスタレーション「Rhizomatiks Research x ELEVENPLAY Dance Installation at Gallery AaMo」をプロデュース。スパイラルのネットワークを活かし、アート関係者に新しいギャラリーを広く認識して頂くに至る。



プロジェクト名称	東京ドームシティ内新施設「Gallery AaMo(ギャラリー アーモ)」 開業パートナーシップ及びオープニングイベント企画製作業務
場所	東京ドームシティ
クライアント	株式会社東京ドーム
協働・協力者	Waltz
参加アーティスト	Rhizomatiks Research、真鍋大度、ELEVENPLAY、MIKIKO
実施期間	2016年～(継続中)



CATEGORY

まちづくり

TITLE

スタジオタウン小山

概要

撮りたい人の味方です、小山町スタジオタウン構想

2002年からフィルムコミッション事業を展開し、年間約170本もの撮影が行われている静岡県小山町。2016年のNPO法人設立を機に、スタジオタウン構築事業をスタートさせました。

スパイラルではその構築にともない、情報発信や映像制作関係の人材づくりにつながる事業を提案。

HPのリニューアルや大学生による滞在制作、地元町民が映像制作の楽しさを体験できるワークショップ、若手映像クリエイターを対象とした映像コンテスト、スパイラルホールでのフォーラムなどを開催。ロケの誘致やクリエイティブな人材の交流、育成を図っています。

プロジェクト名称	スタジオタウン小山
場所	小山町、スパイラルホール（スパイラル3F）
クライアント	小山町
協働・協力者	株式会社プランニングオフィスキュー、JDN、カオスエージェンシー
参加アーティスト	トーチカ、寺井弘典、大阪電気通信大学、多摩美術大学
実施期間	2016年4月～

スタジオ
タウン小山
studio town oyama



金太郎-Resurrection（小山フィルムキャンプ作品
品：字幕あり）



GoldenGirl（小山フィルムキャンプ作品）

CATEGORY

ブランディング

TITLE

「奥出雲と鉄 たたらと刀 刀匠とアーティスト10人の共創」展

概要

地域特有の伝統文化を新しい表現を通して発信

日本古来の製鉄法「たたら」でのみ得ることができる、至極の鋼「玉鋼（たまはがね）」。日本の美と精神の象徴である「日本刀」は、この玉鋼でしか作り出すことができません。島根県奥出雲町では、世界で唯一、古来の技法でたたら製鉄が続けられています。

展覧会では、この貴重な玉鋼を用い、日本を代表する刀匠（とうしょう）の技と、SICF出展者を中心とした10名のアーティストの感性により、日本刀の美と精神を未来に伝える、5つの刃物と5つの鏝（つば）を制作、展示しました。

刀匠の技術とアーティストの感性により、「玉鋼」の可能性世界に向け発信するとともに、たたら製鉄の中に見出すことのできる“文化と伝統”、そして“技と美”に裏打ちされた“ものづくり”を伝える機会となりました。

プロジェクト名称	奥出雲 玉鋼デザイン発表会 「奥出雲と鉄 たたらと刀 刀匠とアーティスト10人の共創」展
場所	ショウケース（スパイラル1F）
クライアント	奥出雲町 奥出雲たたらブランド推進会議
協働・協力者	株式会社ユニバーサルデザイン総合研究所
参加アーティスト	安達加奈江、石野平四郎、大村卓、鈴木僚、関川耕嗣、風当将文、FUKUPOLY、YASUKA.M、楊子卓、吉野哲平
実施期間	2017年2月19日～24日



CATEGORY

健康・地域交流

TITLE WEB体操第1ワークショップ

概要

SPORT×ART 体を動かすワークショップ

SPORT×ART新豊洲の活動拠点として2016年12月にオープンした新豊洲Brilliaランニングスタジアムにて、春の特別企画「ランスタ・スプリングフェスティバル2017」が行われ、スパイラルは、『森山開次WEB体操第1ワークショップ』の企画制作を行いました。ダンサーの森山開次が人間工学をベースに振付した3分の体操を、丁寧に1時間で体の動かし方を指導し実践するワークショップ。

当日は、13時と15時からの2回の開催で老若男女約100人が参加し、寒いスタジアム環境の中で身体も心も温まるイベントになりました。

プロジェクト名称	WEB体操第1ワークショップ
場所	新豊洲Brilliaランニングスタジアム
クライアント	東京ガス用地開発株式会社（主催：ランニングスタジアム運営委員会）
協働・協力者	後援：江東区、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 協力：特定非営利活動法人エッセンス
参加アーティスト	森山開次
実施期間	2017年3月26日（土）

